

子等からの白寿めぎせと春の文

坪郷 英美子

道の駅野菜がしゃべる名産地

寺畑 末雄

まずもって何しに来たか考える

藤井 節子

善と悪線引き出来ぬ多き事

竹本 夕エ子

へり一機焼石に水山の火事

佐藤 哲夫

こらからのほくじゆめぎせとはるのふみ

つぼごう えみこ

みちのえきやさいがしゃべるめいさんち

てらはた すえお

まずもってなにしにきたかかんがえる

ふじい せつこ

ぜんとあくせんびきできぬおおきこと

たけもと たえこ

へりいっきやけいしにみずやまのかじ

さとう てつお

立春の漁場へ舳先まっしぐら

田中 孝利

寒晴や教え子集ふ絵画展

馬場 精作

弓始白きかいなのきみ二十歳

村瀧 富子

息白し応援の人走る人

金内 憲一

新聞を広げる窓辺日脚伸ぶ

山本 隆子

りっしゆんのぎよじょうへへさきまっしぐら

たなか たかとし

かんばれやおしえごつどふかいがてん

ばば せいさく

ゆみはじめしろきかいなのきみはたち

むらたき とみこ

いきしろしおうえんのひとはしるひと

かねうち けんいち

しんぶんをひろげるまどべひあしのぶ

やまもと たかこ

初詣打ち出の小槌振りみれば  
白馬駆けくる初夢の朝

「鬼は外」豆まく力が上がったね  
パパが赤鬼ママは青鬼

親友に一つだけ買うチョコレート  
いつも救ってくれる心に

寒風にえり正したり水仙花  
寒さ吹とぶ朝のりハビリ

口の中器用にうごく我が舌よ  
ときに噛まれて痛い目にあう

原田 ヤスエ

賤間 星

山口 正子

森坂 達夫

倉重 遥代

はつもうでうちでのこづちふりみれば  
はくばかけくるはつゆめのあさ

「おにはそと」まめまくちからがあがったね  
ばばがあかおにままはあおおに

しんゆうにひとつだけかうちよこれーと  
いつもすくってくれるところに

かんぷうにえりただしたりすいせんか  
さむさふきとぶあさのりはびり

くちのなかきようにうごくわがしたよ  
ときにかまれていたいめにあう

はらだ やすえ

ざいま せい

やまぐち まさこ

もりさか たつお

くらしげ はるよ

重たい荷物を下ろして好きに生きる

田中 律子

寒い寒い 孫の手をとる

寺山 玲子

まごの成長 とまどう距離

西岡 悦子

時は君にはゆるやかに私には駆け足

賤間 由美子

亡母の夢やりきれない朝

岡部 雅江

おもたいにもつをおろしてすきにいきる

たなか りつこ

さむいさむい まごのてをとる

てらやま れいこ

まごのせいちょう とまどうきより

にしおか えつこ

ときはきみにはゆるやかにわたしにはかけあし

ざいま ゆみこ

ははのゆめやりきれないあさ

おかべ まさえ